

建築学生による設計課題発表 日光湯元エリアにおける 環境配慮型施設と 滞在スタイルの提案



テーマ3: レールバイクで繋ぐ未来
温泉エネルギーに乗る (平田 菜々花)



テーマ1: つながりのある湯元〜人・自然・地域〜
湯元リビングルーム (松井 瑞樹)



テーマ3: レールバイクで繋ぐ未来
環境の学び拠点 (柏倉 通)



テーマ2: らしさ×体験
旅するホテル Architecture > X > furniture (五十畑 尚人)



テーマ4: 心と体うるおう里
食でつながる (小山 翠)

01.24 MON
13:00-14:00

感染状況に応じて開催方法を
検討しますので、下記まで
問合せください。

主催 宇都宮大学地域デザイン科学部
建築地域設計製図Bコース

【申し込み・問い合わせ先】

宇都宮大学建築環境研究室 担当: 藤原
e-mail: fkisa@cc.utsunomiya-u.ac.jp

建築都市デザイン学科では、地域との実践的な関わりを通して、建築・地域デザイン能力を有する建築家・建築技術者の育成を目標としております。特に学部3年生の後期には、より専門性の高い建築・地域デザインの応用力を身につけることを目標とする『建築地域設計製図』を開講しています。環境・材料系の課題として今年度は「日光湯元エリアにおける環境配慮型施設と滞在スタイルの提案」について、日光湯元エリア周辺の環境を調査し、ビジターセンターおよびアクティビティ体験施設、レストハウスおよび水辺空間、商業施設つき宿泊施設等の木造建築の検討を行いました。

地域発表会では、これらの地区計画、施設に関する複数提案について、学生が発表します。